

|                  |   |
|------------------|---|
| Title            | 海外進出日本企業においてマネジメントの現地化を阻む要因に関する考察   |
| Sub Title        |   |
| Author           | 吉岡圭介(Yoshioka, Keisuke)<br>石田英夫   |
| Publisher        | 慶應義塾大学大学院経営管理研究科  |
| Publication year | 1985  |
| Jtitle           |   |
| JaLC DOI         |   |
| Abstract         |   |
| Notes            | 修士学位論文. 1985年度経営学 第445号<br>可能   |
| Genre            | Thesis or Dissertation  |
| URL              | <a href="https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=KO40003001-00001985-0445">https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=KO40003001-00001985-0445</a> |

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the Keio Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

学生氏名 吉岡圭介

主査 石田英夫

副査 小林規威

所属ゼミナール 石田英夫 研

小野桂之介

## 海外進出日本企業において マネジメントの現地化を阻む要因に関する考察

海外に進出した日本企業にとって、マネジメントの現地化（経営幹部への現地人登用）は、切迫した課題でありながら、あまり進展がみられない。本論文は、米国に進出している日本企業10（14人）に実施した面接調査に基づき、現地化がなぜ進展しないのかを探るものである。

面接調査から、日本企業が基本的には現地化を推進するとしながらも、現地人に少なからぬ不満を抱いていることが明らかになった。その現地人への不満の最たるものは彼らが企業文化を日本人並に習得、理解していないことである。日本企業は、現地人に対しても企業文化の習熟を日本人と同様に要求している。しかしその成果は捗々しくない。本論では、この日本企業の企業文化への執着ともいえる姿勢に着目し、以下の様に推論する。

「企業文化に習熟した人間のみを信頼し、彼らを介したコントロールをする日本企業においては、企業文化の習熟が不十分な人間には大きな責任も権限も与えない。一方、企業文化は本社内で長期にわたり徐々に習得されるものであるから、現地人は日本人に比較してその習熟度で決定的に劣っている。日本企業は、その様な現地人のことを、信頼できず重要なポストに登用することをしない。よって、マネジメントの現地化は、ある程度以上に進展しない。」

尚、最後に、現地化にあたっての「実務のための提言」をまとめる。